

高校1年生 医療体験：7月25日(金)

高校1年生の56名が、福井総合病院を訪問しました。医師、看護師、作業療法士、薬剤師の4つから希望する職種を選び、医療従事者側の視点で病院を見させていただきました。患者さんが救急搬入される部屋、様々な検査機器、実際の手術など、普段見ることのできないものを目にし、とても貴重な経験をすることができました。多くの生徒にとって、今後の進路選択の参考となり、学習へのモチベーションともなったようです。



<体験後、先生陣に質問をしている様子>

○生徒の感想（1年4組 福野光莉）

私は、今回の医療体験を通して医師という仕事の解像度がとても上がったと感じています。普段は見ることのできない病院内を医師とともに回れたことや、手術をしているところを生で見られたこと、白衣やオペ服を着ることができたことなど、とても貴重な体験をすることができ、モチベーションも高まりました。さらに、医師の方々が働いているときに意識していることも聞くことができたので、日常生活で私も意識できるように頑張りたいと思いました。私は、幼いころからずっと「医師になりたい」と思っていたけれど、高校生になって本当になれるのかという不安で進路を迷っていました。しかし、質問会の中であった医師の先輩の「他になりたいことが思いつかないなら、とりあえず真剣に取り組んでみる」という言葉を聞いて、一度前を向いて努力してみようという気持ちになりました。このような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。